



Title	瓜州榆林窟西夏期西夏文・漢文題記訂補 : 2019 年度調査に基づく
Author(s)	佐藤, 貴保
Citation	敦煌石窟における供養人像の歴史学的研究. 2020, p. 9-11
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/75898
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

瓜州榆林窟西夏期西夏文・漢文題記訂補

——2019 年度調査に基づく——

佐藤 貴保

はじめに

筆者は 2008 年以來、甘肅省瓜州県榆林窟壁画の西夏支配時代の供養人像や墨書・刻文の実見調査を行っており、2019 年 12 月にも調査を実施した。2019 年の調査によって、[佐藤 2017, 2019a, 2019b] で発表していた供養人像・漢文墨書のデータに一部誤りがあることが確認された。また、[荒川 2017] で発表されているもの以外に新たに西夏文とみられる墨書を発見した。

調査結果に基づいて、近刊の [佐藤 2020] では、第 29 窟の供養人像の修正データを掲載する予定にしている。また本報告書の別稿では、第 2 窟と第 3 窟の供養人像のデータを掲載する。そして本稿では、第 29 窟を除く筆者のすでに発表している西夏期漢文墨書の録文を訂正したものと、新たに発見した西夏文墨書の位置や録文を掲載する。

榆林窟第 16 窟

・甬道北壁墨書

Y16 XChin 01

[佐藤 2019] の録文に誤りがあったので、修正のうえ全文を再掲する。

- 1 阿育王寺釋門賜紫僧惠聰俗姓張住持窟記
- 2 蓋聞五須弥之高峻劫盡猶平四大海之滔深曆數潛息輪王
- 3 相福無踰於八万四千釋迦裝嚴難過於七十九歲咸歸化跡況惠聰⁽¹⁾
- 4 是三十六勿有漏之身將戴弟子僧朱什子張興遂□子弟
- 5 子弗興安住及白衣行者王溫順共七人往於榆林窟峪⁽²⁾住
- 6 持四十日看讀經疏文字稍薰習善根種子洗身三次四結當

(1) この字は双行で書かれる。

(2) やまかんむりに谷。

- 7 □菩提之因切見此峪⁽³⁾是聖境之地古人是菩薩之身石
 8 墻鑄就寺堂瑞容弥勒大象一尊高一百餘尺三十二相八
 9 十種好端巖峪⁽⁴⁾内揚水常流樹木稠林白日聖香煙起夜後
 10 明燈出現本是修行之界晝無恍惚之心夜無惡竟之夢
 11 所將上來聖境原是 皇帝聖德聖感伏願
 12 皇帝萬歲太后千秋宰官常居祿位萬民□業海長清
 13 永絕狼煙五穀熟成法輪常轉又願九有四生蠢動含靈
 14 過去現在未來父母師長等普皆早離幽□生於□率
 15 天宮面奉 慈尊足下受記然願惠聰等七人及供衣糧
 16 行婆眞順小名安和尚婢行婆眞善小名張你婢行婆□□
 17 小名朱善子并四方施主普皆命終於後心不顛倒免離
 18 地獄速轉生於中國值遇明師善友耳聞妙法悟解大乘
 19 聰明智惠者况温順集習之記□□□之理韻智不迭後
 20 人勿令恠責千万遐迩緣人莫□□一心佛
 21 國慶五年歲次癸丑十二月十七日題記

榆林窟第 19 窟

・前室西壁北側

第一身供養人像頭部の右（北）側に西夏文らしき墨書 1 行を発見した。ただしやや崩した書体で書かれており，判読が難しい。

1 □□

榆林窟第 38 窟

・主室甬道南壁

第一身のカルトウーシュ内に西夏文墨書を新たに発見した。2 行確認できるが，2 行目はほとんど判読できない。1 行目と 2 行目の行頭に段差は無く，床からの行頭までの高さは 167cm。

(3) やまかんむりに谷。

(4) やまかんむりに谷。

